

ぜせんだら

# 「是旃陀羅問題」に関する学習会

私たちが依りどころとする経典・浄土三部経の1つ『仏説観無量寿経』には、「<sup>ぜせんだら</sup>是旃陀羅」という言葉が使われています。1922年の全国水平社創立以来、この語が持つ差別性が問われつづけてきました。1940年には、全国水平社の<sup>いちどりんし</sup>井元麟之氏より「観無量寿経及び親鸞聖人の和讃の旃陀羅解は断じて誤りであり、その曲解が差別観念をいかに助長してきたか判らない。場合によっては、経典の語句訂正も必要であると信ずるから徹底的な検討と善処を要請する」との申し入れがなされています。

しかし私たち僧侶・門徒はこの問題に向き合うことを避け続けてきました。何十年問われ続けながら教団としてまとまった見解を公表することができず、2013年には部落解放同盟広島県連合会よりあらためて問題提起がなされました。これを機に、私たちは是旃陀羅の問題を原点から問い直す必要があるのではないのでしょうか。

平等という関係を開くはずの親鸞聖人の教えを聞いていく者として、現実に観経を読誦し聞いている現場の僧侶・門徒として、私たちはこの問題をどう受け止めてきたのか。あらためて無自覚の罪を犯してきたことに目覚め、この問題に向き合う歩みをはじめめる機会としたいと思います。

【日 時】 2018年4月18日(水)

【会 場】 富山東別院 1階研修ホール

【講 師】 阪本 仁 氏(本山解放運動推進本部委員)

【対 象】 どなたでも

【日 程】 13:00 受付開始

13:30 開会・講義

15:30 質疑応答・レポート

16:00 一旦閉会

16:00 講師を囲む座談会(会館2階 広間)

17:00 閉会

【参加費】 講義 500円・講師を囲む座談会参加の方は別途 1000円

主催 解放運動推進協議会 共催 寺族研修小委員会

問い合わせ 富山教務所(076-421-9770) 担当: 鷲尾